

# 目黒の子どもたちと稲刈り体験

## 児童75名が協力して収穫の喜びと食と農の大切さを学ぶ



十月二日から四日までの三日間、東京都目黒区の緑ヶ丘小学校（稲田正克校長）の五年生三十九名が角田市を訪れ、「秋の農業体験学習」で稲刈り等の農業体験をしました。

角田市と目黒区は先祖が縁で災害時支援協定を結ぶなど友好都市となっており、緑ヶ丘小学校五年生が角田で農業体験を実施するようになってから今年で三年目。毎年、春には田植え体験、秋には稲刈り体験を中心に、食と農との関わりなどを学んでいます。

▲第3期生の目黒区立緑ヶ丘小学校5年生39名と角田市立北郷小学校5年生36名、田植えと稲刈り指導を行ったJAみやぎ仙南角田地区青年部のみなさんと刈り取りを終えた岡地内の総合学習田で

子ども達は、五月に植えた約十五センチの細々とした苗が、百四十一日で約一メートルの大きな稲株に成長しているのに驚きながら一株ずつ丁寧に刈り取っていました。

当日は、北郷公民館（佐藤忠館長）とポラティエグループたんぼのみなさんから芋煮がふるまわれ、子ども達はアツアツの芋煮をおいしそうに食べていました。

二日、角田に着いた緑ヶ丘小学校五年生の児童は枝野地区の大豆ほ場を見学した後、角田産の大豆を使った豆腐づくりに挑戦。夕食後には、JAみやぎ仙南角田地区青年部（三品典俊部長）のみなさんからビデオと稲株を使って、鎌の使い方等の指導を受けました。

三日、北郷小学校（小野琢磨校長）の五年生三十六名と五月に田植えをした岡地区のたんぼ三〇アールで稲刈りを実施。慣れない手つきながらも、ほぼ二〇アールを鎌を使ってたわわに穂った「まなむすめ」の刈り取りを行いました。



▲自分で刈り取った稲を手にニコリ。

最終日となった四日は、早起きをして渡辺博さん（藤尾）の畜舎で乳搾りを体験しました。間近に見る大きな乳牛と初めて触れる牛の乳房におっかなびっくり。搾り立ての牛乳に「うわー、あったかいよ」と歓声を上げて



▲搾り立ての牛乳は温かいことに驚いていました。



▲角田産大豆で豆腐づくりにも初チャレンジ！